

施策名	2 文化資源の保存, 継承, 活用
-----	-------------------

施策主管課	文化課	総合計画記載頁	115ページ
-------	-----	---------	--------

1 施策の位置付け

政策の柱	II 市民の学ぶ意欲と豊かなところを育むために	政策名 (基本施策名)	10 個性的な市民文化・都市文化を創造する	政策の達成目標 (基本施策目標)	本市の誇りである地域の文化が市民の手により育まれ、受け継がれるとともに、市民の文化活動が活発に展開され、本市の顔となる魅力的な文化が創造・発信されています。
------	-------------------------	----------------	-----------------------	---------------------	--

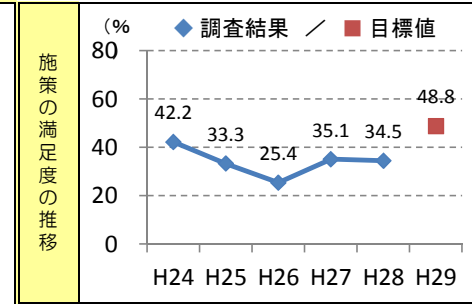
2 施策の取組状況

施策目標	市民が文化遺産・伝統文化などの文化資源を活用し、各々の地域に根ざした文化を守り、伝え、育んでいます。
------	--

① 施策指標	指標名(単位)		H24	H25	H26	H27	H28	H29 (目標年)	評価	② 市民意識調査結果	指標名(単位)		H24 (現状値)	H25	H26	H27	H28	H29	評価				
	指標1	文化財保存団体数(団体)	単年度目標値	52	52	52	52	52			52	A	指標4	施策の満足度(%)	調査結果	42.2%	33.3%	25.4%		35.1%	34.5%	B	
現状値			52	52	52	52	52	目標値(H29)	48.8%	前年度からの増減	-8.9pt				-7.9pt	9.7pt	-0.6pt						
目標値(H29)			52	52	52	52	52																
指標2	文化財活用施設利用者数(人)	単年度目標値	121,370	123,075	125,730	127,285	128,840	130,400	A	③ 主要な構成事業の進捗状況 (主要な構成事業の個別の進捗状況は、「3 施策を構成する事業の状況」を参照)									B				
		現状値	119,147人	149,388	128,486	142,809	149,522	171,188		単年度の達成度	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%								
		目標値(H29)	130,400人	123.1%	104.4%	113.6%	117.5%	132.9%															
指標3	個性ある文化資源活用イベント入込客数(人)	単年度目標値	157,250	159,720	162,190	164,660	167,130	169,600	A	【参考】中核市等との水準比較	市立文化財展示施設等の延べ床面積(m ²) / 市民10万人あたり	中核市平均	-	-	824.53	782.14	802.87	実績値	-	-	245.87	244.99	244.28
		中核市での本市の順位	-	-	32位/42市中	32位/43市中	32位/45市中	中核市平均				-	-	426.1	463.52	476.48							
		中核市での本市の順位	-	-	33位/42市中	33位/43市中	37位/45市中	中核市平均				-	-	209.93	209.11	208.50							
中核市での本市の順位	-	-	33位/42市中	33位/43市中	37位/45市中	中核市平均	-	-	209.93			209.11	208.50										
中核市での本市の順位	-	-	33位/42市中	33位/43市中	37位/45市中	中核市での本市の順位	-	-	32位/42市中			32位/43市中	32位/45市中										
中核市での本市の順位	-	-	33位/42市中	33位/43市中	37位/45市中	中核市での本市の順位	-	-	33位/42市中			33位/43市中	37位/45市中										

※『①施策指標』の単年度の達成度の計算について

★ 増進型の指標(目標値が基準値より増加することが望ましいもの)	$\frac{\text{実績値}}{\text{目標値}} \times 100 (\%)$
★ 削減型の指標(目標値が基準値より減少することが望ましいもの)	$\frac{\text{目標値}}{\text{実績値}} \times 100 (\%)$



① 施策指標	A: 達成度90%超 [33点]	B: 達成度70%~90% [25点]	C: 達成度70%未満 [15点]
② 市民意識調査結果(満足度)	A: 前年度より向上(+5pt超) [33点]	B: 前年度同水準(±5pt以内) [25点]	C: 前年度より低下(-5pt超) [15点]
③ 主要な構成事業の進捗状況	A: 計画以上(主要な構成事業の2割超が計画以上) [33点]	B: 計画どおり(主要な構成事業の8割以上が計画どおり) [25点]	C: 計画より遅れ(主要な構成事業の2割超が計画より遅れ) [15点]
総合評価	順調:(A評価が2つ以上(C評価がある場合を除く。)) [90点以上]	概ね順調:(主にB評価が2つ以上) [65点以上90点未満]	やや遅れている:(C評価が2つ以上) [65点未満]

取組内容と成果・成果の要因、進捗の状況

・国は、平成27年5月に文化芸術振興基本法に基づき、今後を見通した「文化芸術の振興に関する基本的な方針」(第4次)を策定し、重点的に取り組むべき施策として「文化財の適切な状態での保存・継承」、「多様な手法を用いて積極的に公開・活用を行い、文化財に親しむ機会を充実」、「各地に所在する文化芸術資源を地域振興、観光・産業振興等に活用」、「日本遺産認定制度の創設」、「歴史文化基本構想による周辺環境を含めた地域の文化財の総合的な保存・活用の推進」などを掲げている。

・本市においても、伝統文化連絡協議会やボランティア協議会、まちづくり推進機構等市民団体や経済団体の文化振興への意識の高まりが感じられる。

・平成27年に本市が実施した市民アンケートの結果においては、環境整備の必要性について、文化資源を活用して地域のまちづくり活動への支援を求める回答が70%を超えている。

・指標1については、地域の文化財を保存・継承するため、文化財保存団体との連絡を密にし、指定文化財等保存活動費補助金・修理費補助金を適切に交付する等保存団体の活動を支援することで保存団体数を維持している。

・指標2については、各文化財展示施設において、企画展や講演会を充実させ、イベントなどを実施することにより利用者数が伸びている。なお、利用者の増加は、一部スマートフォンゲームの影響もあったと推測される。

・指標3については、「ミヤ・ジャズイン」の集客数が特に好調だった平成27年度との比較では減少となっているが、百人一首市民大会は過去最多の参加者を得るなど各イベントを効果的に実施し、目標値は達成している。

市民満足度

文化財展示施設の活用のほか「うつのみやの戦災展」、「宇都宮の山車・屋台・天棚展」の企画展、まちあるき情報館の山車展示のためのリニューアルなどを実施してきた。また、本市ゆかりの百人一首の普及啓発のため、市民大会や全国大会を開催したほか、児童生徒に対する本市の歴史理解を促進するための補助教材を作成配布するなど、周知啓発に取り組んできているが、文化情報の一層効果的な発信が不足しているため、依然として目標値と乖離があると考えられる。

総合評価	83点
総合評価	概ね順調

3 施策を構成する事業の状況

※凡例 ○:「総合計画の戦略プロジェクト・主要事業」対象、★:「③ 主要な構成事業の進捗状況」対象(最大5事業選択)

No.	事業名	戦略P・ 主要事業 ※	事業の目的	事業内容		事業の 進捗状況	H28 事業費 (千円)	開始年度	日本一 施策 事業	施策目標を達成するための取組方針
				対象者・物(誰・何に)	取組(何を)					
1	宇都宮伝統文化継承事業	○★	伝統文化に触れる機会の拡大	伝統文化連絡協議会 及び市民	・伝統文化フェスティバル ・宮っ子伝統文化体験教室	計画どおり	3,512	H20		本市の伝統文化の周知・継承及び後継者を育成するため、「宮っ子伝統文化体験教室」や「親子で体験学び塾」などを開催する。また、伝統文化連絡協議会と連携し「伝統文化フェスティバル」など効果的な発表の場の確保に努めるが、今年度も引き続き「城址まつり」と共同開催し、集客力の向上を図るとともに、後継者育成のあり方を検討する。
2	文化財周知啓発事業	★	市内文化財の周知啓発	市民	・文化財めぐり ・宇都宮氏ゆかりの地ウォークラリー ・企画展の実施 ・ホームページの運用 ・メルマガ発信 ・パンフレット発行	計画どおり	389	H3		市民共有の財産である指定文化財の保存・活用を推進し、市民の宇都宮に対する愛着や歴史認識を深めるため、博物館との共催事業「宇都宮氏展」に合わせて、宇都宮氏ゆかりの地をめぐるウォークラリーを実施する。修学旅行に際し、小学6年生には宇都宮氏と鎌倉の関係を示すチラシを、中学3年生には宇都宮氏と京都の関係を示すチラシを配付する。各地域に所在する文化財等の周知啓発を図るため、今年度も、モデル事業として城山地区・清原地区の小中学校と連携して学校における文化財活用に関する調査研究を行う。
3	指定文化財等保存修理支援事業		指定文化財の適切な修理・修復	市内に所在する指定文化財等	指定文化財の復旧や修復	計画どおり	7,867	S31		平成29年度は、経年劣化により屋根等の破損が生じ、早急な対応が必要な上野本家住宅文庫蔵等の修理や昨年度の祭りの際に車軸等が破損した西根屋台の修復などに取り組むとともに、適切に保存されるよう、修復に関するアドバイザーの実施や補助金の支給などによる効果的な支援に努める。
4	文化財調査事業		市内に所在する文化財の調査	市内に所在する指定文化財	埋蔵文化財の発掘調査や指定文化財の現況調査	計画どおり	16,377	S42		発掘調査等により埋蔵文化財を適切に保存するとともに、指定文化財の保存や管理状況の調査を推進し、文化財の適切な保護に努める。また、歴史文化基本構想の策定に向けて、市内の文化財を指定・未指定にかかわらず幅広く調査を進める。
5	文化財施設の管理運営事業	★	文化財施設の適正な維持・管理の推進	市民、各文化財施設	文化財施設の管理・企画展・イベント等の実施	計画どおり	54,178	H3		本市の歴史や文化財の周知啓発を図るため、各施設の機能と特色を活かし、指定管理者と連携を図りながら、企画展や巡回展を実施するなど、魅力ある施設運営に取り組む。また、まちなかに歴史や文化を活用した情報発信の拠点となる施設の検討を進める。
6	上神主・茂原官衙遺跡保存整備事業		史跡の保存整備の検討及び周知啓発事業の推進	国指定史跡「上神主・茂原官衙遺跡」	史跡の保存整備	計画どおり	2,083	H20		上三川町と遺跡の整備・活用に関する連絡会議を開催し、今後の活用方策や整備の方向性等について検討する。また、H28年に完成した史跡のパンフレットを学校や地域に配布したり、シンポジウムなどを開催し、広く市民に周知啓発を図る。
7	飛山城跡整備事業		遺跡整備の推進	国指定史跡「飛山城跡」	復元建物の修復 遺跡の整備 土地の公有化	計画どおり	4,700	S52		LRTの整備に伴い、飛山城跡を含む周辺文化財の案内など、活用のあり方について検討を進める。また、城跡内の復元建物が経年劣化していることから、計画的に修復を進める。未公有地部分の公有化のために、地権者との交渉を継続して進める。
8	大谷の名勝・文化的景観保存整備事業	★	大谷の景観の保存整備及び普及啓発	市民、大谷地域内の名勝指定・名勝指定候補地および重要文化的景観選定候補地	普及啓発事業の実施	計画どおり	44	H14		本市の景勝地である大谷について、幅広く魅力を発信していく効果的な取組について、都市計画部門や経済部門と連携しながら、現在策定を進めている歴史文化構想と併せて検討していく。
9	指定文化財保存活動支援事業		市民協働による指定文化財の維持・管理の推進	指定文化財の保存・愛護活動に取り組む団体	指定文化財保存活動に対する補助	計画どおり	1,480	S32		地域に所在する指定文化財を保存・継承するため、地元の保存・愛護団体や所有者等の活動に対し適切に支援を行う。また、高齢化に伴い会員数が減少し、団体の存続が危ぶまれる状況も見られることから、補助率の見直し等、その支援の在り方について検討を進める。
10	文化財ボランティア支援事業		文化財ボランティアの支援	宇都宮市文化財ボランティア協議会	ボランティア養成講座	計画どおり	73	H20		多くの市民に本市の歴史や文化財の周知・啓発を図るため、宇都宮市文化財ボランティア協議会と連携を図り、文化財ボランティアの育成や活動しやすい環境づくりを支援していく。
11	指定文化財管理支援事業		指定文化財の維持管理	指定文化財・所有者	文化財の保存管理	計画どおり	97	S31		文化財を良好な状態で維持管理できるよう、所有者や管理者と密に連絡を取りながら、効果的な支援事業を実施する。
12	うつのみや百人一首市民大会交付金	★	うつのみや百人一首市民大会の円滑な開催	うつのみや百人一首市民大会実行委員会	市民大会の開催及び普及啓発の推進	計画どおり	2,372	H7	トップクラス	関係団体との連携を図り、引き続き、市民大会及び競技かるたの公式戦を開催し、子どもたちを始め、多くの市民に百人一首に触れてもらうとともに、市民大会においては、大会に参加しない来場者も楽しめる企画を提供するなど、「百人一首のまちうつのみや」を市内外にPRする。
13	妖精資料活用事業		妖精資料を活用したまちづくりの推進	市民等	妖精ミュージアムを拠点に、妖精資料の展示・公開等事業の開催	計画どおり	982	H19	独自性	妖精ミュージアム文化ボランティアとの連携を図り、引き続き魅力的な事業展開に努めるとともに、開館10周年記念事業を適切かつ効果的に開催する。
14	ジャズのまち普及事業補助金		ジャズ(軽音楽)を中心とした音楽のまちづくりの推進・人材育成	うつのみやジャズのまち委員会	教育普及事業 ジャズライブ育成事業	計画どおり	1,444	H22		本市ジャズの普及と合わせて、ジャズによる観光振興のさらなる推進を図るため、平成29年度より事務局の一翼を担う観光交流課と連携を図りながら、引き続き教育普及事業(セミナー、ふれあい文化教室ほか)、ジャズライブ育成事業(ミヤ・サンセットジャズほか)を実施していく。また、新規事業としてジャズの歴史や楽しみ方などを紹介する「ジャズ出前講座」を実施するとともに、学校生活の中でもジャズに親しめるよう、様々なシーンに合ったジャズのラインナップを学校に提供する検討を行うなど、「ジャズのまち」の普及に努めていく。
15	ジャズのまち活性化事業補助金		ジャズ(軽音楽)を利用した中心市街地集客の活性化	ミヤジャズ推進協議会	中心市街地における音楽イベント(ミヤ・ジャズイン)の開催等	計画どおり	1,000	H22		毎回一定の集客があり、中心市街地活性化に寄与している事業であるため、今後も補助制度を実施していくとともに、更なる発展に努める。また、平成29年度からは、ジャズによる観光振興をさらに推進するため、観光交流課に事業を移管し、観光の視点からも広くジャズをPRしていく。

4 今後の施策の取組方針

今後の方向性	
課題	<p>◆市民が、本市の魅力的な歴史文化を知り、郷土に誇りと愛着を感じることができるよう、本市に所在する指定・未指定の文化財を幅広く捉え、的確に把握し、総合的に保存活用する方針を示す必要がある。(歴史文化基本構想の策定)</p> <p>◆市民や観光客が、本市の歴史や文化財等の情報を気軽に取得したり、体感することができるよう、歴史文化情報の効果的な発信や、集客交流を促すことのできる情報交流拠点が必要である。</p> <p>◆伝統文化や文化財を適切に保存・継承していけるよう、学校教育との連携を強化するなど、次世代の後継者育成に係る事業を推進する必要がある。</p> <p>◆史跡等の本質的価値の低下を回避しつつ、歴史上又は学術上の価値を適切に伝え、史跡等を核とするまちづくり・地域づくりを推進するため、史跡・建造物等の整備活用に係る効果的・効率的な手法について検討する必要がある。</p>
方向性	<p>〈施策全般〉 ◆平成28年3月に策定した「第2次宇都宮市文化振興基本計画」に基づき、「宇都宮文化の創造・継承の推進」、「文化の力を活かしたまちづくりの推進」に向けて、民間及び関係部署等と連携しながら、文化財を適切に保存活用するための歴史文化基本構想の策定に取り組むほか、伝統文化継承事業を推進するとともに、効果的な情報交流拠点機能の検討を進めるなど、市民の歴史文化への興味関心を高める取り組みを推進する。</p> <p>〈主要事業〉 【宇都宮伝統文化継承事業】 ・本市の伝統文化を振興し、次世代に継承していくため、全国に先駆け本市において立ち上げされた「伝統文化連絡協議会」が10周年の節目を迎えるのに合わせ、伝統文化に身近に触れる機会を更に充実するとともに、地域の継承活動の環境づくりや、人材育成の支援を進め、また、天棚や屋台等の未指定文化財も含めた地域の大切な文化資源を守り育てる仕組みの検討を進めていく。</p> <p>〈その他個別事業〉 ◆【大谷地域の産業・観光・歴史文化の振興(大谷石に関する歴史文化資源の保存活用の推進)】 ・本市に所在する文化財を、指定・未指定にかかわらず幅広く捉えて、的確に把握し、文化財をその周辺環境までふくめて、総合的に保存・活用していくための考え方や方針などを定める「宇都宮歴史文化基本構想」の策定に取り組む。また、その基本構想を基に設定された関連文化財群のうち、大谷石を中核的なテーマとしたストーリーを作成し、「日本遺産」への認定に向けた取り組みを推進する。</p>